

# 企業向けクラウドサービスの 安全なWebアクセスを支える「Advantage SSL」

CMSによりサーバー証明書の申請から発行が約5分で完了



## NECネットエスアイ

会社名：  
NECネットエスアイ株式会社

事業内容：  
ネットワークをコアとするICTシステムに関する企画・コンサルティングや設計・構築などの提供など

本 社：  
東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋フアーストタワー

従業員数：7,818人  
(2020年3月31日現在：連結)

1953年設立、国内・海外における通信インフラの構築、保守や企業内ネットワークの構築、運用・保守など、コミュニケーション技術の発展や社会課題の変化に合わせて事業領域を拡大してきました。現在はコミュニケーション・システムインテグレーターとして、通信事業者、官公庁や社会インフラ事業者といった様々な企業に対し、幅広い情報通信システムをSIから施工・サービスまで一貫して提供しています。

1953年設立、コミュニケーション・システムインテグレーターとして通信事業者や官公庁、社会インフラ事業者などに幅広い情報通信システム提供するNECネットエスアイ株式会社。セキュリティ強化の観点からSSLサーバー証明書の有効期限が短縮化されるに伴い、同社は企業向けのクラウドサービスで利用するSSLサーバー証明書の発行までの期間やコスト、更新時期などの管理負荷軽減などの目的で、Entrust Certificate ServicesのSSLサーバー証明書(Advantage SSL)を導入。証明書発行のスピード向上、管理負荷軽減などの効果を得ている。

### ■ 証明書発行のスピードアップ、管理負荷軽減が課題

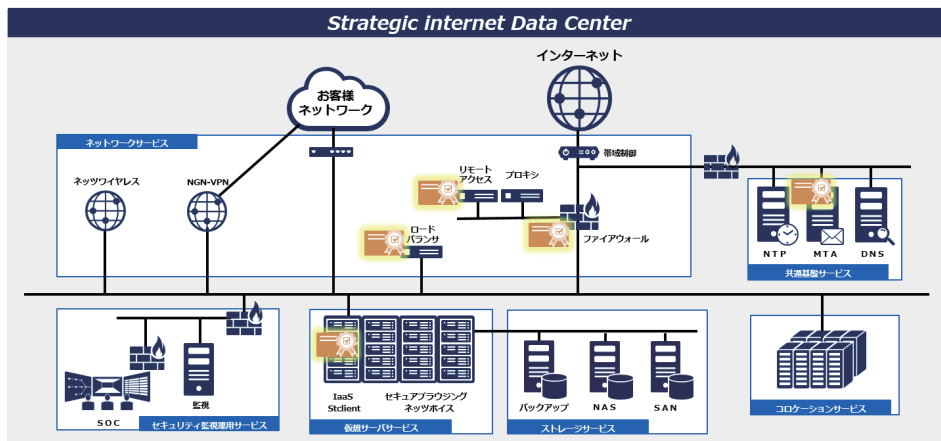
ネットワークをコアにICTシステムの企画・コンサルティングや設計・構築から運用までをワンストップで提供するNECネットエスアイ株式会社。最近では、DX事業ブランド「Symphonict(シンフォニクト)」のもと、クラウド/デジタルシフトを推進している。デジタルソリューション事業本部では、企業向けのクラウドサービスを提供している。クラウドプラットフォームサービス部の湯田氏は「IaaSを利用する企業がWebサーバーを構築する際などにサーバー証明書の発行を行うほか、データセンターのネットワーク機器の運用・管理などにも通信を暗号化するSSLサーバー証明書を数多く利用している」と話す。サーバー証明書の発行は、見積もりから発注、申請といった承認フローを経るため、一般的には発行まで2週間程度の時間を要しており、「証明書発行までのスピードアップが課題だった」と湯田氏は話す。また、近年、サイバーセキュリティの観点からSSLサーバー証明書の有効期間は短くなっており、2020年9月からは、有効期限は最大で1年になった。クラウドプラットフォームサービス部の松本氏は「ユーザー企業ごとにサーバー証明書の更新作業が頻繁に発生するため、今後は多くの証明書をいかに効率的に管理していくかがクラウドサービス事業者としての課題だった」と述べる。

### ■ 2021年春以降、証明書サービスが利用できなくなるため移行を決断

同社は2013年ごろから「AffirmTrust」のSSLサーバー証明書サービスを利用していた。当時、証明書の導入に関わったクラウドミーティングサービス部の藤井氏は「トレンドマイクロ社が定額で3ドメインまで証明書発行無制限というユニークなサービスをリリースしたことを知り、日本でのリリースと同時に利用を開始した」と話す。その後、2016年4月にエントラスト(Entrust Datacard)がトレンドマイクロから事業を買収し継承した後も継続して利用していたが、2020年4月、エントラストジャパンから「AffirmTrustが2021年春以降、証明書が発行できなくなる」との通知を受ける。NECネットエスアイでは上記に挙げた証明書発行、管理の課題があったことから、新たなSSLサーバー証明書サービス導入の必要性を感じ、エントラストジャパンから「Advantage SSL」への移行の提案を受け、2020年5月頃より本格的な検討を開始した。

### ■ CMS ポータルの使い勝手が証明書管理の効率化につながるとして採用

Advantage SSL採用の決め手となったポイントについて、藤井氏は「価格面での優位性」を挙げる。「AffirmTrustは定額で証明書発行無制限だったため、証明書サービスの移行に伴い、発行枚数に応じた従量課金の料金体系になると、弊社のクラウドサービスのビジネスプランが崩れるおそれがありました」(藤井氏)。その点、Advantage SSLは「AffirmTrustと変わらないスペックで、なるべく定額に近い料金体系を提示していただき、コストメリットを感じられた」ことが決め手となった。そして、Advantage SSLの大きな差別化ポイントになったのが、「CMS」(Certificate Management Service)ポータル



タルによる証明書管理業務の負荷軽減だ。CMSの管理ポータルから証明書発行の申請や、有効期限管理などの業務を行える。湯田氏は「Affirm Trustにも管理ポータルがあったが、Advantage SSLの管理ポータルは使い勝手がよかった」と話す。以前は発行された証明書の一覧しか見えなかったものが「Advantage SSLのダッシュボードには、申請中のサーバー証明書や、発行済みの証明書の有効期限がいつ切れるのかなど、証明書ごとにステータスが可視化できるため、ユーザー企業ごとの証明書更新作業をはじめとする管理負荷が軽減されることが期待された」ということだ。そして、グローバルでの実績なども総合的に勘案し、2020年10月に正式に契約。旧サービスからの移行期間を半年間とし、既存ユーザーに関するサーバー証明書の移行を2021年3月に無事完了した。

## ■ サーバー証明書の申請から発行が約5分で完了

Advantage SSLの導入効果について、湯田氏は「証明書発行業務のスピード化」を挙げる。「Advantage SSLのCMSでは証明書の申請から発行まで5分程度で完了できる」ため、サーバー証明書の移行期間中も「既存ユーザーの約100枚の証明書移行をスムーズに行うことができた」そうだ。証明書管理についても、Advantage SSLのCMSのダッシュボードにより「有効期間が1年と短縮化されたサーバー証明書の管理は、Advantage SSLでなければ成り立たない」状況だという。また、手厚いサポートも運用面での特筆事項だ。移行プロジェクトの期間中にもシステムメールが届かない、CMSのログイン時に二段階認証がうまく機能しないなどの不具合があったが、「エントラストジャパンの迅速なサポートにより、スムーズに移行を完了できた」と松本氏は話す。今後、さらにニーズが高まるテレワーク環境の構築をクイックに行うために「サーバー証明書の迅速な発行と効率的な管理を可能とするAdvantage SSLのCMSは、クラウドサービス事業者として大きなアドバンテージとなっている」ということだ。

## ■ 今後も新しいサービス、ソリューションの利用拡大に期待

今後の展望について、湯田氏は、「SSLサーバー証明書以外にもサービス利用範囲を広げていきたい」と述べる。たとえばコロナ禍により企業におけるテレワークの利用機会が増え、社内ネットワークに外部からアクセスするリモートアクセスのニーズが増している。「リモートアクセスサービスでは、認証方式がいくつかあるため、クライアント証明書などの利用も検討していきたい」ということだ。松本氏は、「以前と変わらないクオリティの証明書サービスにスムーズに移行できたのはエントラストの品質の高いサポートのおかげだ」とした上で、「今後も社内システム運用などの新たな用途や、クライアント証明書などの新たなサービスと連携していく際にも、パートナーとして変わらぬ支援に期待したい」と締めくくってくれた。



NEC ネットズエスアイ株式会社  
デジタルソリューション事業本部  
オフィスソリューション事業部  
クラウドプラットフォームサービス部  
主任  
松本 圭示 氏



NEC ネットズエスアイ株式会社  
デジタルソリューション事業本部  
オフィスソリューション事業部  
クラウドミーティングサービス部  
主任  
藤井 恭平 氏



NEC ネットズエスアイ株式会社  
デジタルソリューション事業本部  
オフィスソリューション事業部  
クラウドプラットフォームサービス部  
湯田 征也 氏

詳細はこちら：  
[entrust.com/ja](https://entrust.com/ja)



ENTRUST